

1.ごあいさつ

～ お客さま、地域の皆さまへ ～

平素から当社の鉄道事業に対し、ご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。当社は1926年（大正15年）に神戸有馬電気鉄道株式会社として設立し、1928年（昭和3年）に湊川～有馬温泉駅間の営業を開始しました。近年では1995年の「阪神淡路大震災」や2018年の「平成30年7月豪雨」などをはじめとする自然災害で被災するなど、これまで幾多の困難を乗り越えて現在に至っております。これはひとえにお客さまをはじめ地域の皆さまや沿線の自治体のご支援とご協力の賜物であり、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、3年以上の長きにわたり、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等において、お客さまには多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が2類から5類に引き下げられ、マスクの着用も基本的には個人の判断に委ねられることとなり、様々な感染防止対策についてもそれぞれ緩和されております。そのような中で当社では「お客さまの安全・安心・快適の提供」をモットーに、社会の動向を注視しながら今後とも安全運行に努めてまいります。

当社では2006年に安全管理規程を制定し、輸送の安全の確保を最優先に「安全方針」「安全目標」「防災の基本方針」を掲げて安全管理体制の継続的な改善と強化・充実に努めております。また、安全を最優先する企業風土の構築に向け、具体的な行動指針として「行動規範」を定め、輸送に携わる従業員一人ひとりにその理解・浸透を図っており、今後も安全管理体制をさらに充実してまいります。

2022年度におきまして、ハード面では引き続き山間部の多い当社沿線の現状を鑑み、法面補強をはじめとする自然災害対策を実施するとともに、PCまくらぎ化や電車線支持物（電柱）の建替、踏切非常通報押ボタンの設置や車両機器の更新等の保安度向上施策を計画的に進めました。また、ソフト面では自然災害を想定した本部合同復旧訓練のほか、他の鉄道事業者で発生した車内傷害事件等を鑑み、関係機関と連携した異常時対応訓練等を実施するなど、非常時でも適確に行動できるよう社員の対応力向上に努めております。さらに、日頃の業務等を通して『事故やインシデント等の要因となる不安全行動をしない、させない、許さない』『輸送の安全を確保する最後の砦は扱う人である』ことを社員一人ひとりが認識して、『絶対に事故を起こさない』という高い安全意識を持った人材育成と安全を最優先する職場風土の醸成に取り組んでおります。

2020年6月1日より神戸市交通局による北神線（新神戸～谷上間）の一体運行が開始され、当社沿線の北神・北摂地域から神戸市中心部への交通利便性が向上し、兵庫県の南北を結ぶ基幹鉄道として当社が果たす役割がますます重要となっております。そのような中、神戸市との連携による駅的美装化工事として、花山駅および大池駅上新駅舎の共用を開始し、それぞれ新しい息吹を感じる特徴的なデザインで街の玄関口にふさわしい駅となりました。これらは沿線の魅力向上や活性化を進めていく上でも大変意義のある取組みであり、お客さまが今後も駅前を快適な公共空間としてご利用いただけ、駅やその周辺のリノベーションを通じて沿線を魅力ある街として将来に引き継いでいくため、地域の皆さまや沿線の自治体と連携・協働し、より良い沿線の実現を目指し取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、輸送の安全を確保するための取組や安全管理体制の実態等について自ら振り返り、また、皆さまに広くご理解いただくためにまとめたものであります。皆さまにおかれましては、本報告書を是非ご高覧いただき、率直なご意見とご感想をお聞かせいただきたく、よろしくお願い申し上げます。



神戸電鉄株式会社
代表取締役社長

寺田信彦

2023年8月